

(参考様式 6)

事業活用活性化計画目標評価報告書

令和元年 8 月 8 日作成

活性化計画名	三次地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
三次市	342092	1	平成 26 年度～ 平成 30 年度	平成 26 年度
活性化計画の区域				
広島県三次市 三次地区 76,767.9 ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
交流人口 (入込客数) の増加	25.62%	7.68%	29.97%	
地域産物の販売額の増加	3.18%	▲10.54%	▲331.44%	

(コメント)

本市の主要集観光施設である広島三次ワイナリー、みよし運動公園、奥田玄宗小由女美術館等が集積する酒屋地域の一角に、地域連携販売力強化施設「トレッタみよし」を整備し、これらの施設と有機的連携を図ることで農産物の販売額を増加させ、より安定した農業経営と近隣都市住民との地域間交流を図ることで農山村の活性化をめざしている。

【交流人口 (入込客数) の増加】

三次地区への入込客数は、平成 26 年では約 47 万人であったものが、平成 27 年 3 月に地域連携販売力強化施設が供用を開始して増加し、平成 30 年には約 69 万人となったが、計画目標は達成できなかった。

計画目標を達成できなかった一番の要因は、平成 25 年 3 月に松江自動車道が全線開通したことにより、並行する国道 54 号線沿いの道の駅の利用客が当初の予想以上に激減したことである。

【地域産物の販売額の増加】

地域連携販売力強化施設単体における販売額の目標に対しては大幅に上回っており、地域産物の販売に寄与しているが、本市の主要農産物である米について、平成 26 年産米の大幅な米価下落により、農業協同組合関係の販売実績が大きく落ち込むとともに、これを契機として地区農業者のリタイヤ等による米の生産量減少や直販の増加にもつながったことから、米価が持ち直した現在も J A の販売額が落ち込んだままとなっている影響が大きく、目標を達成することができなかった。

2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
地域連携販売力強化施設	地域内外の相互連携による農林水産物の販売力強化，生産力強化等のために必要な加工施設，販売促進（販売・飲食提供用施設等及びこれらの付帯施設の整備） (木造平屋建 延床面積 A=869.85 m ²)			三次市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
三次市	平成 26 年度	平成 26 年度	平成 27 年 3 月 21 日	
事業の効果				
<p>本施設は，開業以来，周辺施設との相乗効果をはじめ，隣接する広島三次ワイナリーとの一体的な経営や出荷会員と連携したオール三次産品の魅力の発信，消費者との交流などを行うことで，都市農村交流の拡大及び三次産農畜産物の販売力強化に寄与している。</p> <p>今後，本施設の販売・交流機能の拠点性を高めることにより，更なる効果が期待できる。</p>				

3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>計画目標である「交流人口の増加」及び「地域産物の販売額の増加」は，目標達成には届かなかったが，本施設の供用開始以後，地域の観光交流拠点ともなっており，周辺施設との相乗効果もみられ，交流人口や地域産物の販売額増加に寄与している。</p> <p>しかしながら，いずれの計画目標も目標数値に対しては現状では大きな乖離があり，目標達成のためには，中国横断自動車道尾道松江線の全線開通以降減少傾向にある活性化計画区域内の周辺地域（君田・布野）での集客力向上と振興作物の生産力強化や地元特産品・農畜産物の6次産品化への取組み等による販売力の向上に継続して取り組んでいかなければならない。</p> <p>また，平成 29 年度に策定した「(仮称) みよしアグリパーク整備基本構想」に基づき，本施設の拠点性を高める新たな事業展開を検討しており，これらの取組みによる更なる地域活性化につなげていく。</p>

4 第三者の意見

(コメント)

地域連携販売力強化施設（トレッタみよし）に係る地域産物の販売額の増額目標については、集客、販売力を発揮され、目標を上回る実績を上げておられ、農産物を中心とする地域産物の販売による地域農業の振興、生産拡大、農業所得の向上に寄与している。

全体の目標が未達成である背景として、地域産物の販売額では、農業を取り巻く環境の悪化（高齢化、担い手不足等）を原因とする生産量の減少が挙げられ、交流人口に関しては、中国横断自動車道尾道松江線開通による交通事情の変化が影響し、全体目標を下回る結果になっている。

今後、目標達成に向けて、地域連携販売力強化施設を核とした地域産物の販売強化、交流人口拡大について、関係機関と連携した取り組みが必要である。

【三次農業協同組合 営農経済部 次長 大田 浩之】

交流人口（入込客数）の増加が、観光消費額の増加にもつながっているのか、さらには消費の対象となっているモノは、その地域内で調達され、地域内での経済循環につながるものなのかという視点も大切である。そのような観点から見ると、本計画の目標値はいずれの項目も達成できなかったものの、地域産物を販売する本施設（トレッタみよし）単体での入込客数と販売額がともに当初の想定を上回るものであったことについては一定の評価ができる。

今後は、「(仮称) みよしアグリパーク整備基本構想」に基づく新たな事業展開による更なる活性化と周辺地域への波及効果に期待したい。

【(一社) みよし観光まちづくり機構 事務局長 藤井 啓介】

(参考様式6添付資料)事業活用活性化計画目標評価報告書の達成率等算出根拠

広島県 三次市

三次地区活性化計画

目標値

(単位:人)

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
交流人口(入込客数) の増加	684,500	642,100	640,600	616,900	544,472	622,100	838,400	806,000	826,500	837,300
	事業実施前(現状)				3,128,572	計画期間(目標)				3,930,300

実績値

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
交流人口(入込客数) の増加	684,500	642,100	640,600	616,900	544,472	476,390	791,379	719,558	694,695	687,040
	事業実施前(現状)				3,128,572	計画期間(実績)				3,369,062

[事後評価]

$$\textcircled{1} = \text{目標値A} = (\text{目標} / \text{現状}) \times 100 - 100(\%) = 25.62\%$$

$$\textcircled{2} = \text{実績値B} = (\text{実績} / \text{現状}) \times 100 - 100(\%) = 7.68\%$$

$$\text{達成率} = \textcircled{2} \div \textcircled{1}$$

29.97% 未達成

(参考様式6添付資料)事業活用活性化計画目標評価報告書の達成率等算出根拠

広島県 三次市

三次地区活性化計画

目標値

(単位:千円)

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
地域産物の販売額の増加	4,293,956	4,075,966	3,862,318	4,020,415	3,933,942	4,046,900	4,204,200	4,181,100	4,194,800	4,202,700
	事業実施前(現状)				20,186,597	計画期間(目標)				20,829,700

実績値

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
地域産物の販売額の増加	4,293,956	4,075,966	3,862,318	4,020,415	3,933,942	3,337,599	3,748,750	3,664,929	3,748,350	3,558,069
	事業実施前(現状)				20,186,597	計画期間(実績)				18,057,697

[事後評価]

$$\textcircled{1} = \text{目標値A} = (\text{目標} / \text{現状}) \times 100 - 100(\%) = 3.18\%$$

$$\textcircled{2} = \text{実績値B} = (\text{実績} / \text{現状}) \times 100 - 100(\%) = -10.54\%$$

$$\text{達成率} = \textcircled{2} \div \textcircled{1}$$

-331.44% **未達成**